

参加費無料 事前登録制

和文 シンポジウム

～畳・花・茶・着物四業界の未来への取組～

日時

令和8年2月10日(火)

14:00～16:10 (13:15開場)

会場

農林水産省講堂

東京都千代田区霞が関1-2-1(7F)

畳

展覧会「いま畳を語るとき」

吉田 忠史氏 COMMOS PROJECT
実行委員会 初代代表

花

横浜山手西洋館からの
いけばな発信

粕谷 尚弘氏 一葉式いけばな 第四代 家元

茶

急須で引き出す
日本茶の真髄

奥富 雅浩氏 奥富園 十五代

着物

次世代を仲間にする
採用と育成

上達 功氏 日本橋 丸上 三代目社長

トークセッション コーディネーター 遠州茶道宗家 十三世 家元 小堀 宗実氏

和文化は、暮らしを彩る文化として日本人に受け継がれてきたものであり、いぐさ、茶、花き、蚕糸といった我が国各地で生産されてきた農産物と強く結びついたものです。こうした農産物の生産と関連産業の発展を通じて、和文化は、地域経済を支える重要な役割を果たしてきたところです。

今回のシンポジウムでは、いぐさ、茶、花き、蚕糸の4業界が連携して和文化の発信に取り組む「和文・産業連携振興協議会」会員をはじめとして、各業界の未来への取組を、人材確保、認知度向上等さまざまな角度から取りあげることで、業界相互の理解と連携の必要性について、認識の向上を図ります。業界関係者の方、また、和文化に興味を持たれる皆様の参加をお待ちしております。

アクセス

地下鉄
丸ノ内線霞ヶ関、日比谷線霞ヶ関、千代田線霞ヶ関

申込はこちら ▶

締切:2月2日(月)

お申込みによって得られた個人情報は、
厳重に管理し、本シンポジウムの運営のみに
使用させていただきます。

問合せ先

農林水産省農産局果樹・茶グループ 篠田、大城
TEL 03-6744-2512



農林水産省

協力:和文・産業連携振興協議会

和文化・産業連携振興協議会 について

和文化・産業連携振興協議会は、和文化に深く関わる業界からの自発的な要請を受けて農林水産省の生産局（当時）が定期的に開催した「東京オリンピック・パラリンピックを契機とした和の文化の発信に係る打ち合わせ」での検討を踏まえ、い草（熊本県い草生産販売振興協会・畳でおもてなしプロジェクト実行委員会）、茶（日本茶業中央会・東京茶道会）、花き（日本いけばな芸術協会）、蚕糸（大日本蚕糸会）の四業界が初めて横断的に連携し、それぞれと関連の深い和文化団体との連携を深めていく組織を令和元年6月に結成したものであります。



協議会が発足して間もなく、新型コロナウイルス感染症が拡大し、世界中がパンデミックとなりましたが、コロナ禍でも生産・文化団体との連携を広げ、和文化発信の核となるべく、令和3年度には『和文化生活宣言』を策定しました。また、令和4年・令和5年度には「きものの日」シンポジウム、令和5年・令和6年度には和文化シンポジウムを農林水産省と協力して開催してまいりました。

昨年に引き続いての今回の和文化シンポジウムは、生産から流通・消費、業界の枠を越えた和文化・産業連携振興協議会の特性を生かして、い草・蚕糸業・茶業・花き産業に関わりの深い関係者がそれぞれの事例を持ちより、互いに参照することで、和文化を未来につないでいくための課題解決の糸口を探るものです。

一 和文化生活宣言 一

和文化とは

日本の自然にはぐくまれた幸をいつくしむ心の在りよう

和文化は、日本の大地にはぐくまれた幸を楽しむ知恵です。
この知恵を生かして日々の暮らしを彩る生活を支える新しい市場を作るために、
私たちは、和文化・産業連携振興協議会に集いました。

和の生活文化は

- 一、日本の美しい四季と共にあります
- 一、和の素材を作る産地に支えられています
- 一、日本人の人を想いやる心によって育てられてきました
- 一、日本のおもてなし文化を育んできました
- 一、日本が世界に誇る文化です